

## 若者の音楽生活とライブ参加に関する意識調査

菊島 大成

時代の変化により今と昔では人々の行動に大きな違いが見られるようになり、「若者の〇〇離れ」という言葉がよく使われるようになった。そんな中、2016年現在日本では「若者の音楽離れ」という現象が起こっており、音楽にかかる金額や時間、また関心が減少していると言われている。しかし一方で、同じ音楽産業の中でもライブ市場は近年好調な伸びを見せている。なぜ、音楽離れが起こっているのにわざわざライブ会場に行き、高いお金を払うようになっているのか。本論文ではその現象の確認と要因について研究を行った。

第一章では本論文の目的と問題意識、そして本論文の構成を述べた。

第二章では、二次データから明らかになった日本の音楽市場について述べている。第一節では、日本の音楽市場が世界で2位であり、とても大きな市場であることや、音楽のデジタル化が進んでいる中、日本では今でもパッケージ販売が主流であるなどの日本の音楽市場の特徴について紹介している。第二節では、音楽の売り上げやレンタル売り上げの推移をグラフにし、近年の音楽市場の動向について示している。そして、第三節では、音楽離れの現状について、4つの観点から説明している。

第三章では、ライブ市場について述べている。第一節は、日本のライブビジネスの特徴を紹介している。第二節では、年々ライブ市場が拡大していることに加え、ライブビューイングなどの新たなライブの楽しみ方が登場していることなども述べている。第三節では、ライブを楽しんでいる人の意識や特徴についてのデータを示した。

第四章では、音楽生活やライブに関する先行研究を3つ紹介している。

第五章では、アンケート調査を行った結果について述べている。第一節では普段の音楽生活について、第二節では音楽ライブについて、第三節ではライブ会場に行く理由についての調査結果を述べている。

第六章では、五章での結果を踏まえて導き出した四つの結論について述べている。まず一つ目として、若者の間で音楽離れは起こっていないという事が明らかになった。二つ目に、女性の方がライブを楽しんでいる人の割合が多いという事が分かった。三つ目に、ライブに行く一番の理由が好きなアーティストと空間を共有したいからだという事が分かった。四つ目として、生活面で金銭的な余裕がある人ほどライブに行くという事が分かった。以上の結論を詳しく述べている。